



～支え合い助け合う

誰もが安心して自分らしく暮らせるまちづくり～

社会福祉法人 横芝光町社会福祉協議会

〒289-1727 千葉県山武郡横芝光町宮川11902 TEL 0479-80-3611 FAX 0479-80-3651

E-mail info@yokoshibahikarishakyo.jp <http://www.yokoshibahikarishakyo.jp/>



令和6年度

赤い羽根共同募金へのご協力をお願い



「困ったときはお互いさま」の精神からはじまった赤い羽根共同募金は、皆さまの住んでいる町のために使われる募金です。

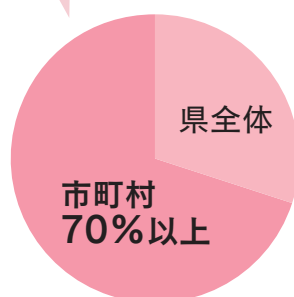
地域には高齢者・障がい者の社会参加や子ども食堂や地域の繋がりづくりのイベント、DV・虐待の防止・被害者保護など、困っている方を支援する人たちがいます。

赤い羽根共同募金は、そうした「支える人」を支える募金として、75年以上の長きに渡り「つながりをたやさない社会づくり」を目指して活動を続けています。

あなたの身近な人、同じ町で暮らす人たちを支える募金運動に、ご協力をお願いいたします。

助成額の70%以上は市町村へ

赤い羽根募金の70%・市町村歳末たすけあい募金の100%が市町村で活用されます



いつも赤い羽根共同募金にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

今年も10月1日より赤い羽根共同募金運動が実施されます。地域の皆さまの温かいご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金のフィールドは地域です。

共同募金会は、皆様の身近にある福祉の課題を解決するために、全市町村に共同募金の窓口を置き、募金活動と助成を行っています。

令和5年度の千葉県の助成総額約5億8千万円のうち、約4億2千万円は市町村の身近な福祉のために助成し、約1億6千万円は県域の福祉のために助成しました。



災害時にも地域の活動を支えます。

大規模災害に備えて、募金の一部を準備金として積み立てています。(積立限度は募金額の3%で3年間) 令和5年台風13号の接近に伴う大雨被害でも、千葉県内の被災地域で災害ボランティアセンターの設置や、復旧・復興活動を行うボランティア団体の支援のために募金が活用されました。

また、災害用備品の整備や防災訓練にも使われ、減災・防災の取り組みでも活躍しています。



コロナ禍でも「つながりをたやさない社会づくり」を推進します。

新型コロナウイルス感染症が暮らしの一部となり、「新しい生活様式」が徐々に浸透していく中で、以前よりも人と人とのつながりが希薄化しています。地域のための民間財源である共同募金は、地域の孤立を防ぐため、子育て世代や高齢者・障がいを持つ方など様々な人たちがつながり合い・支え合う地域づくりのための支援を数多く行っています。



次のページから皆さまから頂いた募金をどのように使っているか、団体の活動内容を紹介します。

社会福祉協議会での赤い羽根募金の活用方法

●社会福祉協議会とは…

社会福祉協議会は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくりのため、全国の都道府県・政令指定都市・市町村に設置された民間の社会福祉法人です。

横芝光町社会福祉協議会では、地域の皆様や民生委員児童委員、ボランティア、福祉施設、保健・医療などの関係機関、団体等と協力し合い、地域福祉活動を推進するために様々な活動を行っています。

●赤い羽根募金の使い道について

- ・地区社会福祉協議会活動費
- ・ふれあいサロン助成金
- ・各種団体助成金(ボランティア連絡協議会活動費・生き生きクラブ連合助成金等)
- ・ボランティア担い手研修
- ・福祉のつどい開催費
- ・社協ホームページ
- ・災害ボランティア研修
- ・子どもの遊び場点検
- ・広報紙発行
- ・福祉のまちづくり(標語・作文・ポスター募集)

～具体的な活動を一部紹介！～

助成している団体

現在、ボランティア活動している12団体へ助成しています。

その中の団体「ほいす(声の広報)」を紹介します。

月1回、高齢者や目が見えにくい方のために、町広報紙「よこしばひかり」を読み上げて録音をしています。作成されたCDを公共施設(プラム・図書館・郵便局等)や希望者宅へ届けます。



福祉のまちづくり

高齢者福祉・地域福祉・障がい者福祉・ボランティア活動を題材に町内から標語・作文・ポスターを募集しました。

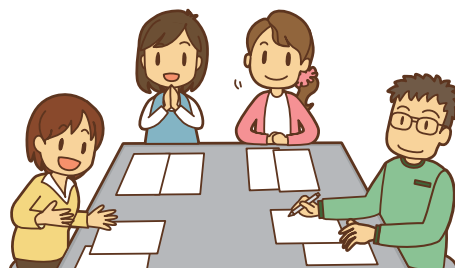
受賞作品は、12月頃図書館1階ロビーで展示、1月発行の広報紙「社協よこしばひかり」に掲載予定です。



ボランティア担い手研修 災害ボランティア研修

ボランティア担い手研修では、「ボランティア活動してみたい」「ボランティアに興味がある」という方に向けて、ボランティアの研修を行います。

災害ボランティア研修では、災害が起きた時に自分にできることや災害時の行動などについて研修を行います。



福祉のつどい開催

町社会福祉の発展のために活動してきた方々を表彰し、日頃から尽力されている福祉関係者の慰労を行うことを目的として開催します。

今年度は、令和7年2月22日に開催します。

地域のふれあい活動 ～地区社会福祉協議会～

大総地区AED研修

災害が頻発し、また熱中症で搬送されるケースが多いことから、救急法について研修会を行いました。横芝光町消防組合から講師をお呼びして、講義を聞いたり実際にAEDを使った心肺蘇生法を教わりました。



上堺地区ボッチャ交流会

ボッチャを通して、地域の方と交流しました。初めての方も大歓迎ですので、たくさんの参加をお待ちしています！



七夕馬づくり

日吉小学校3、4年生と光小学校4年生が、日吉・南条・東陽地区社協運営委員会の方々と一緒に五穀豊穡を願って七夕の日に飾る馬作りに挑戦しました！



日吉小学校3、4年生と実施



南条・東陽地区社協合同で、光小学校4年生と実施



レクリエーションスポーツ大会開催！

レクリエーションスポーツとは子どもからお年寄りまで、幅広い年齢の方が脳トレゲームや簡単な運動をととして交流する事業です。

白浜地区は10月14日、東陽地区は10月26日に60歳以上の方を対象に開催します。



白浜・東陽地区社協の運営委員の方々が体験してみました。

町社会福祉協議会の各団体活動報告

生き生きクラブ

7月2日(火)町民会館大ホールにて、特選演芸会を開催し、一木ひろしものまねショーでは、参加された方々の拍手と爆笑の渦でした。

また8月7日(水)町民会館大ホールにて、役員・単位クラブ会長を対象に、山武警察署交通課・生活安全課職員の方を招いて、「高齢者の安全・安心」について研修会を行いました。

町生き生きクラブではこの他にも、親睦旅行やグラウンドゴルフ大会・芸能活動やサロン・交流会等様々な活動を行っています。

興味がある方は、お問合せください。



ふれあいサロン

地域の人たちが健康体操や脳トレでリフレッシュしたり、茶話会や食事会を自分たちで企画したりする交流事業

外出する機会が減り
サロンに出かけるのが
楽しみ!

みんなと楽しむ
機会が増えて
嬉しい



9月から虫生地区で新しく『夢生^{むしやう}ふれあいサロン』が立ち上がりました。他の地区にも、新しいサロンを作る計画が持ち上がっていて、地域交流の輪が広がってきています。

ボランティア連絡協議会

スムーズに健診が受けられるようにサポート
住民健診で案内ボランティア



住民健診の案内ボランティアとして16日間、延べ19名のボランティアの方にご協力いただきました。

「どの検査に行かれますか?」と健診に来た方に積極的に声を掛け、検査場所へ案内をしました。

♡ 一日赤十字 ～救急法講習勉強会～ ♡

令和6年7月26日に横芝光町赤十字奉仕団主催の「一日赤十字」を開催しました。当日は奉仕団員と一般参加者合わせて37名が参加し、三角巾の使い方や足をねん挫したときの手当の仕方を体験しました。



講義では災害時の赤十字奉仕団の役割について、奉仕団委員長が参加者からの質問に答えながら解説していただきました。閉会後は、炊き出しを想定して団員が実際に作った混ぜご飯と、レトルトカレーがお土産として配られ、充実した勉強会となりました。

住民たすけあいサービス「協力会員」募集！

住民たすけあいサービスとは、日々の暮らしの中でちょっとした困りごとを「住民同士で助け合いしよう」というサービスです。

Q&Aコーナー

Q.どうやって協力会員になれますか？

A.社会福祉協議会で手続きを行います。

Q.協力会員になるために、資格はありますか？

A.ヘルパーなどの資格や特殊な技術は、ありません。

Q.どのような活動をしていますか？

A.日常の困りごとに対してお手伝いをしています。高齢で買い物に行けない方のために、買物代行をしたり、足の悪い方の代わりに簡単な掃き掃除を行ったりしています。

Q.どのくらい活動していますか？

A.現在、6名の協力会員が活動しています。

Q.定期的に活動しないといけませんか？

A.月に1回でも構いません。平日の午前8時30分から午後5時までの間の希望の1時間程度の活動をお願いしています。

Q.報酬はどの程度ですか？

A.1回(1時間)の活動で約600円の報酬がです。

詳しくは社会福祉協議会まで、ご連絡ください！



買い物代行で、
頼まれた品物を
届けている様子です。



☺ 食品の寄付ありがとうございました。



令和6年5月20日(月)～6月28日(金)まで行ったフードドライブ(食品の回収)に多くの方からご協力をいただきました。いただいた食品は、生活に困窮している方のために活用させていただきます。

✿ 上堺小で高齢者擬似体験！ ✿

7月1日に上堺小学校で高齢者擬似体験を行いました。体験グッズの装着に手間取りながらも、ボランティアと協力して、装着完了。

いつもより動きがゆっくりで、慎重に歩いていました。



階段は声掛けをしながらペアの人が先導をして、階段を下りることができました。体験が終わった後は「おじいちゃん、おばあちゃんの手伝いをしていきたい」という感想がありました。



コイン掴みでは、手袋をしているため、いつも通りに掴めないのでペアと協力してコインを掴み取りました！



☎ もしもし電話(声の訪問)

話し相手として、ボランティアしてみませんか？

もしもし電話とは…

町内にお住いの65歳以上の1人暮らしで、見守りが必要な方に週1回5分程度の電話をかけ様子を伺い、お話を聞く傾聴ボランティアです。



安否確認をしたり、
日常生活のお話をしたり
しています。



現在4名のボランティアが活動しています。
興味がある方は社会福祉協議会まで、ご連絡ください。
もしもし電話を利用したい方もご連絡ください。

「心配ごと相談」・ 「法律相談」 を行っています

法律相談 (*要予約)

法律に関する相談に弁護士が応じます。

- 開催日 毎月第1・第3火曜日
- 時間 午後1時30分～午後4時
- 場所 社会福祉協議会(役場北側)

心配ごと相談 (予約はいりません)

家庭や地域の悩みことなどの相談に、心配ごと相談員が応じます。

- 開催日 毎月第2・第4火曜日
- 時間 午後1時30分～午後4時
- 場所 第2火曜日 文化会館
第4火曜日 町民会館

ボランティア 派遣事業協力者募集！

ボランティア連絡協議会では、高齢者の話し相手やゴミ出しのお手伝いなどをするボランティア派遣事業を行っています。

活動内容

- 住民健診時案内
- 福祉体験手伝い
- ゴミ出し
- 話し相手
- 家事援助
- 封入作業



ボランティア登録をお願いします。

ボランティア活動はしているが社会福祉協議会に登録されていない団体や個人の皆様、ぜひ登録をお願いします。